

## 3月1日～7日は 春の火災予防運動を実施します！

問合せ先 消防本部予防課予防グループ (☎82-9492)

### 2022年度全国統一防火標語

#### 「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

冬から春に移り変わるこの時季は、空気が乾燥し、風が強い日も多くなるので、火災が発生しやすくなっています。火災から身を守るため、家族で火気を取り扱う場所を点検するとともに、火災が発生したときに備え、住宅用火災警報器や住宅用消火器を設置して、被害を最小限に抑える対策を取りましょう。

#### 全国の総出火件数

令和3年中の全国の総出火件数は35,222件、そのうち建物火災は19,549件で1日あたり約54件の建物火災が発生しています。

#### 令和4年中の亀山市の火災概要

令和4年中に市内で発生した火災は24件で、前年に比べ5件増加しました。その中でも建物火災は前年に比べ7件増加しており、残念なことに負傷者が9人出ています。避難誘導や初期消火を行う場合は、自分の安全にも十分ご注意ください。また、高齢者は着衣着火を防止するため、調理の際には防災製品を着用しましょう。

#### 電池火災に気をつけましょう！

近年、リチウムイオン電池に起因する火災が増加しています。リチウムイオン電池は充電して繰り返し使用できる電池で、皆さんがお持ちのモバイルバッテリー、コードレス掃除機、スマートフォン、ノートパソコンなど幅広い製品に使用されています。しかし、便利な反面、使い方や処分方法を誤ってしまい、火災を引き起こすケースが全国で数多く報告されています。

#### なぜ火災が起こるの？

火災を引き起こす最も多い原因は、不良な製品の使用です。粗悪な輸入品をインターネットで購入したり、リコール対象品を使用したりすることで発生しています。購入時は、PSEマークで安全性が確保されているか確認するとともに、リコール対象品は直ちに使用を中止しましょう。また、強い衝撃が加わった製品や劣化した製品を使用し続けることも、火災発生危険がありますので十分注意が必要です。

#### どうやって処分するの？

ごみ収集や破砕処理作業中、小型充電式電池などに衝撃が加わって発火する火災事故が全国的に発生していることを受け、市では、令和5年1月から小型充電式電池等の分別収集を試行開始し、小型充電式電池等は破砕粗大ごみの危険ごみとして分別しています。

処分方法について詳しくは、各家庭に配布の「小型充電式電池等の分別収集等チラシ」や市ホームページをご覧ください。



令和5年  
春の火災予防運動ポスター  
井田川小学校4年生  
鬼寅宏菜さんの作品

#### <市内の火災概要>

項目	R3年	R4年	増減
火災件数 (件)	建物 (住宅)	4 (3)	11 (2) +7 (-1)
	林野	0	1 +1
	車両	6	6 ±0
	その他	9	6 -3
	合計	19	24 +5
死傷者 (人)	死者	1	0 -1
	負傷	4	9 +5

